

シングルボールルールと マルチボールルールの違い

	シングルボールルール (JDBA)	マルチボールルール (WD)
試合時間	1セット5分間。 1セットマッチか3セットマッチが主流	前後半各15分。 15分間の中で、3分間の『セット』と呼ばれる試合をたくさん行う。
勝利条件	試合終了時に内野人数の多いチームが勝ち。 複数セットマッチの場合は、獲得セット数の多いチームが勝ち	各セット終了時に内野人数の多いチームに2ポイント追加される。引き分けの場合はそれぞれに1ポイント。前後半30分間の試合終了時点で合計ポイント数の多いチームの勝ち。
試合開始	ジャンプボール。 ジャンプボール後のボールをジャンパーは補給できない。またジャンプボール後の1投目でジャンパーを攻撃できない。	ラッシュ。 センターラインに置かれた5つのボールのうち、中央のボールを取り合う。(各チーム左側の2個のボールは、優先的に獲得できる) 取ったボールは、アタックラインより後方に下げることでプレイ有効となる。
アウトの条件	相手の投球したノーバウンドボールに当たり、床等に接した時。複数人に当たっても最初の1人のみアウト。頭部はセーフ。	1. 相手の投球したノーバウンドボールに当たり、弾いた時。複数人に当たったら、当たった人は全員アウト。 2. ファールをした時。 3. 投球したノーバウンドのボールをキャッチされた時。
アウトになった選手の復帰条件	外野からアウトを取った時。	上記3に該当するプレイがあった時、アウトになった順番に1人復帰する。
特殊ルール	外野選手が手に触れたボールが外に出た場合、その外野選手から再開できる。	ブロッキング。 相手の投げたノーバウンドのボールに対し、守備側が持っているボールで弾き返した場合、アウトにならない。 ブロッキングの際、ブロッキングに用いたボールを落としたり、手がしっかりホールドされていないとアウトになる。